

レジャー施設から従業員用駐車場まで。次世代自動車普及のカギを握る充電スポットを業種別に紹介。

EV・PHV Charging Point Report

EV・PHV充電 インフラレポート

2015

月極め回転式立体駐車場の改修工事に合わせて、
テナント企業が所有するEVの充電が可能なパレットを3台新設。
夜間などの格納中に効率よく充電でき、好評を博している。



阪本ビル駐車場 (大阪府)



8階建てオフィスビルに設置された回転式立体駐車場である阪本ビル駐車場(新明和工業製)は、テナントとして入居する企業を中心に29台を収容可能。格納中に充電できる充電設備を3台新設し、フル稼働している。

既設駐車場リニューアル時に
EV・PHV用充電対応パレットを新設

Check Point

- 改修工事に合わせてスムーズに充電設備を導入
- 夜間電力利用で、1台につき月額1000円程度の燃料費
- 追加設置可能な設備で今後の増設にも対応



コンセントスタンド型の普通充電器は駐車パレットにコンパクトに設置され、使い勝手もよく、見た目もスマートだ。

付加価値リニューアルでテナントニーズと環境対応を実現

テナント企業のEVに対応 29台中3台に充電設備新設

1983年に設置された月極めの回転式立体駐車場である阪本ビル駐車場は、設置後30年の経年劣化対応と収容サイズ拡大のために2013年、機械式駐車場メーカーの新明和工業が、改修工事を実施。同時に、テナント企業が所有するEV用に充電設備を3台新設した。

「これまでは既設駐車場に入庫できなかった中・大型車やミドルルーフ車を立体駐車場前のスペースに平置きで駐車。EVも同じスペースに充電設備を設けて、別途対応していました。今回の改修工事によってパレット



充電はコンセントにケーブルをつないで、手順に従って行うだけで簡単。夜間の格納中に、割安な夜間電力を利用すれば、コスト削減にも貢献。

サイズの拡大と新たなEV・PHV用充電設備の設置が同時に実現したため、テナント企業からも便利になったと好評をいただいています。特にEVを所有する企業からは「格納中に安心安全に充電できる」と大変喜ばれています。

水平式ではなく回転式の立体駐車場のため、計画当初は充電設備がうまく取り付けられるか心配でしたが、新明和工業さんの適切な提案でコンセントスタンドがコンパクトに設置でき、満足しています」（阪本不動産 総務部 吉永氏）

燃料費少ないEV・PHV 社有車増で充電ニーズ拡大

充電料金はパレットごとに計算され、各テナントの使用電気料金と合算して請求している。ガソリンに比べると電気は燃料費が非常に安く済み、1台につき月額1000円程度と経済的だ。

「環境にやさしく、燃料費もわずかなEVやPHVは社有車としてもとても魅力的です。当社も営業車や役員車として今後、検討していきたいと考えています。

そのためには、車両の航続距離が伸びることと充電インフラの整備が不可欠。ユーザーや社会のニーズも高まっているので、今回設置した充電設備は増設に備え、後付け可能なタイ

プにしました。従来は対象外だった立体駐車場以外のコンセントやコンセントスタンドにも補助金対象が広がっているため、多くの駐車場が付加価値の高い充電設備の設置に積極的に取り組んでほしいですね」（吉永氏）



従来は立体駐車場以外のコンセントやコンセントスタンドの充電設備は補助金対象外だったが、平成26年度は対象になっているので、積極的に活用したい。

Charging Spec

阪本ビル駐車場

【住所】大阪府大阪市中央区淡路町1-2-6
【充電設備設置場所】月極め立体駐車場
【充電器タイプ】普通充電器3台
【充電料金】使用電気料金を月単位で請求
【利用可能時間】24時間

※原稿は2015年5月28日に取材した内容を元に作成。

●お問い合わせ

充電インフラ補助
コールセンター

03-5501-4415 (9:00~17:00 平日のみ)

<http://www.cev-pc.or.jp>

次世代自動車

検索



一般社団法人 次世代自動車振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 大手町建物虎ノ門ビル2階

一般社団法人 次世代自動車振興センターは、経済産業省からの補助金で電気自動車、プラグインハイブリッド自動車や充電設備の購入者等(リースを含む)に対する補助事業を行っています。